

基本目標3 子どもが心身ともに健やかに学び育つまちづくり

子どもが、社会や生活環境の変化に柔軟に対応して個性豊かに主体的に生きる力を身に付けるとともに、生命を尊ぶ心を育むことの重要性を認識し、次代の親へと成長していくことが期待されます。

子どもが自らを大切に、社会性を身に付けるように支援したり、家庭、保育所、幼稚園、学校など地域全体で、様々な学習の機会を通して豊かな人間性を培うため、教育環境の整備を推進します。

主要施策3-1 次代の親の育成

事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-1-1	学習情報の収集と提供 (重複掲載3-3-13)	子どもや保護者等の多様な学習ニーズに対応するため、幅広い学習情報の収集と提供を行います。 ■生涯学習情報誌「鎌倉萌」を発行 ★毎月8,000部 年間96,000部 ■神奈川県生涯学習情報システム「PLANETかながわ」への生涯学習情報提示	事業の継続	教育総務課	△
3-1-2	性(命)の尊重、男女平等についての啓発	男女が正しく性を理解・尊重しあうこと、お互いが協力して家庭生活・社会生活を築く男女共同参画についての啓発を行います。 ■フォーラム ★1回 ■セミナー ★2回 ■男女共同参画推進講座 ★2回 ■情報紙発行 ★2回	事業の継続	文化人権推進課	△
3-1-3	小学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載3-2-9)	生活科の授業、総合的な学習の時間や小学校の行事等(運動会、各学校で行われる子どもまつり等)を通して、小学生と保育園児や幼稚園児の交流を推進します。 また、就学を控えた園児と同じ地域の小学校低学年の児童が、一緒に活動し交流を行います。 ★各小学校に幼保小交流事業担当者をおき、小学校区単位で交流事業の推進に努めました。 ★各園にて就学前の訪問、運動会の競技への参加等交流を実施。	市立小学校全校での交流実施を継続	教育センター 教育指導課 保育課	○
3-1-4	中学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載3-2-10)	市立中学校の生徒が、保育所や幼稚園で総合的な学習の時間で「職場体験学習」や技術・家庭科の家庭分野の学習の中で「保育体験」を行います。 ★市立中学校全校で職場体験学習や技術・家庭科、総合的な学習の時間等の学習の中で取り組みました。	市立中学校全校での実施を継続	教育指導課 保育課	○
3-1-5	道徳教育での啓発	主として他の人とのかかわりに関することの中で、「男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する」ことについて、教科書や机上の学習だけでなく、体験を通して学ぶことに努めます。 ★道徳教育はすべての教育活動を通じて行いました。 道徳の時間はすべての学校で年間35時間(小学1年生のみ34時間)行いました。	事業の継続	教育指導課	△
3-1-6	特別活動での啓発	学級活動の中で、「男女相互の理解と協力」について、教科書や机上の学習だけでなく、体験を通して学ぶことに努めます。 ★学級活動は毎日の朝の会や帰りの会、年間35時間(小学1年生のみ34時間)の学級活動の時間、放課後活動の中で行いました。	事業の継続	教育指導課	△

主要施策 3-2 学校の教育環境の充実

事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-2-1	環境教育の推進	<p>環境と人間とのかかわりを学び、恵み豊かな環境やいのちを大切にする心を育む環境教育の充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■環境出前講座の実施 ★3回 151人 ■環境教育アドバイザー等の派遣実績 ★42件 ■環境教育アドバイザー等の派遣人数 ★322人 ■夏休み子ども向け自然観察会の開催 ★1回 21人参加 	事業の継続	環境政策課	△
3-2-2	学校評議員制度	<p>各学校が保護者や地域の方々の意見を広く聴き、地域に開かれた、また信頼される学校づくりを推進します。</p> <p>★設置率 100% (H21:100% H22:100% H23:100% H24:100% H25:100%)</p> <p>【H21】100%</p>	設置率の維持	教育指導課	○
3-2-3	世代間交流	<p>小中学校では、総合的な学習の時間等で、地域の保育所、幼稚園、障害者施設、老人ホーム等へ訪問し交流を深めます。また、地域のお年寄りを学校に講師として招いて知識、経験を子どもたちに伝えていきます。保育所では近隣の小学校、障害児者施設や老人ホームなどを訪問し、交流を深めます。また、地域のお年寄りを招いての交流を図ります。</p> <p>★小中学校では、総合的な学習の時間等で、地域の保育所、幼稚園、障害者施設、老人ホーム等へ訪問し交流を深めた。また、地域のお年寄りを学校に講師として招いて交流をしました。</p> <p>★保育園において、地域の中学・高校から総合的学習や職場体験で1～3日受け入れました。また、小学校を訪問するなど交流を深めました。グループホームや地域のお年寄りと遊びや行事による交流を図りました。</p> <p>★公立2園(深沢、大船)にてあおぞら園との交流を実施。材木座は老健ぬかだ、稲瀬川はきしろホームとの交流を、また深沢は地域のお年寄り、岡本は老人会と交流を実施しました。</p> <p>★小学校は3-1-3と重複</p>	事業の継続	教育指導課 保育課	△
3-2-4	教育相談事業の充実	<p>教育センター相談室において、幼児から青少年の相談並びにいじめ・不登校等の教育相談を行います。不登校児童・生徒のために、教育支援教室等を設置し、自立に向けた支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■教育センター相談室 ★新規相談人数 322人 ■教育支援教室 「ひだまり」 ★通室児童生徒登録数 16人 ■個別教育支援(夏季実施分) ★延べ参加人数 25人 ■心のふれあい相談員の配置 ★2-3-1参照 ■スクールソーシャルワーカー(市・県) ★2-3-1参照 	事業の継続	教育センター	△

事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-2-5	幼児教育に関する研究・研修	<p>幼児教育に理解を深め、幼稚園・保育園と小学校との間で円滑な接続を図る観点に立って、相互理解と連携を深めるよう、その研究・研修活動支援の一層の充実を図ります。</p> <p>■ 幼児教育研究会 ★ 幼稚園・保育園・小学校の職員で研究会を構成し、テーマをもって実践的な研究に取り組み、研究の成果を「幼児教育」にまとめました。</p> <p>■ 幼児教育研修会 ★ 1回 54人参加</p> <p>■ 幼児教育研究協議会 ★ 幼稚園・保育園・小学校の職員が集まり、協議会を開催 1回 180人参加</p> <p>■ 幼保小連携研修会 ★ 幼稚園・保育園の各1園と小学校の1校の3か所で公開授業を行いました。 3回 81人参加</p> <p>■ 幼保小交流事業 ★ 市立小学校に幼保小交流事業担当者をおき、小学校区単位で交流事業の推進に努めました。</p>	幼児教育研究会・幼児教育研修会の継続	教育センター	△
3-2-6	心の教育の推進・道徳教育の充実	<p>生命を大切に、他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心を育てる教育を推進するため、道徳教育の充実に努めます。また、道徳教育資料集の続編を編纂するために資料収集を行います。</p> <p>★ 資料集(「続かまくらのはなし」)を市内小中学校に配布</p>	事業の継続 道徳教育資料集 vol.2編纂	教育センター	△
3-2-7	国際社会への対応	<p>外国人英語講師(A L T)を小学校にも派遣することにより、国際理解教育の充実を図ります。</p> <p>■ 5人の外国人英語講師(A L T)を、中学校及び小学校(5、6年生)に派遣し、授業を通して国際理解教育の充実を図りました。 ★ 年間176日</p>	事業の継続	教育指導課	△
3-2-8	情報化社会への対応	<p>各教室でインターネット等が利用できるよう、校内LANの整備を進めるとともに、ITを活用した施策の充実に努めます。</p> <p>■ 小・中学校教員を対象にしたコンピュータ研修 ★ 3回 56人参加 ★ 小・中学校のICT機器の増設</p>	事業の継続	教育指導課 教育センター	△
3-2-9	小学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載3-1-3)	<p>生活科の授業、総合的な学習の時間や小学校の行事等(運動会、各学校で行われる子どもまつり等)を通して、小学生と保育園児や幼稚園児の交流を推進します。また、就学を控えた園児と同じ地域の小学1年生が、一緒に活動し交流を行います。</p> <p>★ 3-1-3参照</p>	市立小学校全校での実施を継続	教育センター 教育指導課 保育課	-
3-2-10	中学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載3-1-4)	<p>市立中学校の生徒が、保育所や幼稚園で総合的な学習の時間で「職場体験学習」や技術・家庭科の家庭分野の学習の中で「保育体験」を行います。</p> <p>★ 3-1-4参照</p>	市立中学校全校での実施を継続	教育指導課 保育課	-

事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-2-11	各種育成行事	<p>子どもの健康維持・増進を図るため、各種の大会や教室を開催します。また、子どもたちの文化・芸術活動を活性化するため、活動成果を発表する場の提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学校陸上記録大会 ■小学校音楽会 ■鎌倉駅地下道ギャラリー50展示 ■小学校児童作品展 ■中学校音楽会 ■中学校生徒美術展 ■中学校演劇発表会 ■中学校総合体育大会 ■中学校連合文化祭 <ul style="list-style-type: none"> ★市内国立・市立小学校6年生 ★市内国立・市立小学校17校 ★市内小・中学校14校 ★市内国立・市立小学校17校、入場者総数5,714人 ★市内国立・市立中学校10校 ★市内国立・市立中学校10校 ★市内1校 ★市内市立中学校9校、国立1校、私立6校 ★市内市立中学校9校、国立1校 	事業の継続	教育指導課	△
3-2-12	安全で快適な学校教育環境の整備	<p>学校施設整備計画「改訂版」の内容に沿った事業を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■校舎改築工事 ★大船中学校 ■トイレ改修工事 ★西鎌倉小学校、手広中学校 ■プールろ過装置等改修工事 ★富士塚小・深沢小共用プール ■排水設備改修工事 ★今泉小学校 ■体育館照明器具耐震対策修繕 ★第二小学校、御成小学校、深沢小学校、小坂小学校、第一中学校、深沢中学校、岩瀬中学校 	事業の継続 (管理諸室空調設備工事については、平成24年度で終了)	学校施設課	△
3-2-13	体験学習の推進	<p>福祉や環境問題などについて、実際の体験を通じて学習するため、総合的な学習の時間等を使って、校外活動等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★市立小・中学校全校で取り組みました。 	市立小中学校全校での実施を継続	教育指導課	△
3-2-14	かまくら子ども議会の開催	<p>子どもたちが、市議会の模擬体験を通じて、市民生活と行政との関わりや、鎌倉市が直面するさまざまな課題について考えるとともに、自らの言葉で市長等と質疑応答を行うことにより、議会制民主主義への理解を深めながら地方自治の仕組みについて学習することを目的として開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★中学校対象に実施 	小中学校隔年での実施を継続	教育指導課	○



事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-2-15	個に応じた指導の充実	<p>少人数指導やティーム・ティーチングなどを実施し、児童生徒一人ひとりの興味・関心、習熟の程度等に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。</p> <p>★指導法改善(少人数指導やティーム・ティーチング)をテーマとして、校内研修・実践教育を進めています。</p> <p>■少人数学級編制の導入</p> <p>★小学校2年生で35人学級を編制するために、県の定数配当の教諭が学級担任となり、市費非常勤講師をその後任として補充しました。</p>	事業の継続	教育指導課	△
3-2-16	読書活動の推進	<p>朝のホームルームの時間等を活用して読書活動に取り組めます。</p> <p>また、「図書館専門員」「読書活動推進員」を小・中学校へ派遣するなど、児童生徒の読書に親しむ環境づくりを進めます。</p> <p>■読書活動推進員を市立中学校全校(9校)へ派遣</p> <p>★各校月4日、5人派遣しました。</p> <p>■学校図書館専門員を市立小学校全校(16校)へ派遣</p> <p>★各校月12日、16人派遣しました。</p>	事業の継続	教育指導課	△
3-2-17	各種補助員・介助員の派遣	<p>水泳、運動部活動、日本語指導等専門性の高い分野や、特別支援学級・通常級に在籍する児童生徒の介助など、児童生徒の教育活動が円滑に進められるための各種補助員・介助員を派遣します。</p> <p>★学級支援員 23校 81人 (H20:16校27人 H21:16校27人 H22:21校46人 H23:23校70人 H24:23校90人 H25:22校90人)</p> <p>★特別支援学級への学級介助員 12校29人 (H20:7校17人 H21:7校17人 H22:7校17人 H23:7校18人 H24:9校21人 H25:13校27人)</p> <p>★通常級への学級介助員 3校 4人 (H20:4校4人 H21:3校3人 H22:3校5人 H23:5校6人 H24:4校5人 H25:3校4人)</p> <p>★スクールアシスタント 10校 10人 (H20:5校5人 H21:8校8人 H22:8校8人 H23:8校8人 H24:9校9人 H25:10校10人)</p> <p>★水泳補助指導員 15校 8人 (H20:9人 H21:9人 H22:9人 H23:7人 H24:8人 H25:8人)</p> <p>★運動部活動補助指導者 3校3人 (H20:3校3人 H21:3校3人 H22:3校3人 H23:3校3人 H24:3校3人 H25:3校3人)</p> <p>【H21】★学級支援員 16校27人 ★特別支援学級への学級介助員 7校17人 ★通常級への学級介助員 3校3人 ★スクールアシスタント 8校8人 ★水泳補助指導員 9人 ★運動部活動補助指導者 3校3人</p>	事業の拡充	教育指導課	○
3-2-18	ごみの発生抑制及び減量化、資源化啓発	<p>市内保育所、幼稚園や小中学校の児童生徒を対象にごみの発生抑制及び減量化、資源化のための啓発を行い、児童生徒はもとより、父母、家族までその意識を広める事業を行います。</p> <p>■環境教育</p> <p>★中学生への環境教育 4校 1,066人</p> <p>★小学生への環境教育 9校 664人</p> <p>★保育園児への環境教育 3園</p> <p>★幼稚園児への環境教育 3園</p> <p>*保育園、幼稚園への環境教育の備品貸出しのため人数は把握していません。</p>	事業の継続	資源循環課	△

事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-2-19	幼児教育の振興	幼児教育の振興並びに充実のため、幼児教育についての情報提供を進め、幼児期の成長の様子や大人の関わり方について保護者や地域住民等の理解を深める事業を行います。 ★23園中全園で実施	事業の継続	私立幼稚園	△
3-2-20	里山体験学習	小中学校の総合的な学習として受け入れ、年間通して農作業、谷戸保全作業、自然観察を指導します。また、単発的な谷戸保全作業体験をグループ・クラス・学年単位などで受け入れます。 ■深沢小学校5年生「谷戸田の米づくり」 ★全8回128人 ■御成中学校1年「谷戸保全活動」 ★1回117人 ■教育支援教室 ひだまり「昔ながらの畑、二毛作」 ★10回 ■富士塚小学校5年生「谷戸田の米づくり」 ★9回43人 ■横浜国立大付属小学校5年「谷戸田の米づくり」 ★8回	事業の継続	NPO法人山崎・谷戸の会	△
3-2-21	幼稚園教諭の資質の向上	幼児教育の資質向上のため、園内研修のみならず、定期的に行う園外教員研修に加え、免許更新制度導入に伴い、公的に認められた免許更新講習会を受講します。	事業の継続	私立幼稚園	△
3-2-22	高校生のための国際理解事業(H22新規)	市内在住、在学の高校生を対象に、国際NGOなど現場の活動家などを招き、国際協力の意義、実情などを理解する事業。 ★1回開催。14人参加(うち中学生3人) ※対象を高校生に限定せずに「中学生&高校生のための国際理解講座」として開催。	事業の継続	文化人権推進課(秘書広報課より変更)	△
3-2-23	景観セミナー等の開催(H22新規)	将来の鎌倉のまちづくり、景観づくりの担い手となる子どもたちに対して、体験学習や講習会等を実施し、鎌倉らしい景観形成の普及啓発に取り組みます。 ■親子景観セミナー 「大船のまち並みのルーツを探る～大船田園都市って何?～」 ★8組計18人の親子が参加 ■景観出前講座 ★市内小中学校生徒向けに2回実施	事業の継続	都市景観課	△
3-2-24	ようこそ先達事業(H23新規)	文化、芸術など多くの人材に恵まれた本市の特性を活かし、文化人や芸術家に協力を仰ぎ小中学生に講演や演奏等をおして感動を届ける事業。 ★小学校2校・中学校1校 延638人参加	事業の継続	文化人権推進課	△



主要施策3-3 家庭や地域の子育て力の向上

事業名	事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-3-1 ブックスタート事業の推進	6か月児育児教室において、絵本の入ったブックスタートパックを贈呈し、絵本の読み聞かせの仕方などのアドバイスを行います。 ■ブックスタート ★48回 6か月児 986人 保護者等1,142人参加 ★パック受取率 90% *平成27年6月現在、市民健康課による平成27年1月以降のパック受取数が入っていないため上記パーセントより増える予定。 【H21】 ★パック受取率 83.5%	受取率の向上	中央図書館	○
3-3-2 子育て支援センターの充実 (重複掲載 1-3-2・4-3-2)	子育て家庭に対してアドバイザーが子育ての情報提供や、育児相談に応じます。フリースペースの子育てひろばも設置します。 ★1-3-2	未実施地域での整備を検討	こども相談課	-
3-3-3 生涯学習施設の提供	学校学習施設の一般開放を行います。 ★提供している施設 学校開放学習施設 4校(小学校3校 中学校1校)	事業の継続	教育総務課	△
3-3-4 育児教室	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身に付けられるよう、専門の講師による講座等を開催します。また、育児経験に乏しい親たちの、育児への不安や悩みを解消するため、子育て教室・講座の開設に努めます。 ■6か月児育児教室 ★48回 保護者数1,018人(うち父41人) ■1歳児歯科育児教室 ★24回 保護者数 820人(うち父14人) ■親子セミナー ★10回 保護者数 158人(うち父1人) ■ふたご・みつごのための親子講座 ★3回 保護者等数 27人(うち父6人)	事業の継続	市民健康課	△
3-3-5 両親学級	妊娠及び出産後の母体の保護・日常生活の注意・育児の楽しさを一緒に学習します。 ■両親教室 A・B・C 3コースを毎月実施。 1コースからの受講を可能とした。 ★36回 実377人(うち父158人) 延666人(うち父191人)	3日間コース12回の実施を継続	市民健康課	○
3-3-6 地域での子どもの参画活動	各種団体等の活動を通して、子ども同士や子どもと地域の人々の交流が図られるよう、各種の活動に対し積極的な支援に努めます。また、新たなニーズへの対応、出張講座の検討をします。 ■出張講座 ★子ども会館等への出張 鎌倉15回、玉縄4回	事業の継続	青少年課	△
3-3-7 子どものスポーツの育成	子どものスポーツを通じた体力の向上と仲間づくりのため、企業や関連団体と連携をとり、子どもが遊びを通してスポーツを体験できる環境づくりを推進します。 ★体育協会加盟団体やレクリエーション協会が主催する教室やイベントの会場確保や広報活動の支援 ★徳洲会体操クラブや神奈川県と連携し、アスリートの指導による体験教室や交流会を開催 ★横浜DeNAベイスターズによるプロ野球こども観戦招待	事業の継続	スポーツ課	△

事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-3-8	子ども会館・子どもの家における健全育成	地域社会の中で、児童の遊び場の拠点として、異年齢集団での遊びや仲間づくりのための居場所づくりに努めます。 ★1-3-1参照	一日あたり平均来館者数10%アップ	青少年課	-
3-3-9	学校開放の推進	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校体育施設の開放を進めていきます。 ★市内公立小中学校全校で実施（25校） ★市内公立小中学校水泳プール（11校）	事業の継続	スポーツ課	△
3-3-10	青少年指導者の活動支援	子どもの地域活動を支える青少年指導者の活動を支援します。 ★鎌倉市青少年指導員の活動支援、研修会等の補助をしました。	事業の継続	青少年課	△
3-3-11	小学生リーダー・ジュニアリーダーの育成	集団活動や野外活動における基本的な知識と技術を身に付け、地域における青少年活動のリーダーとなれる人材を育成します。 ■子どもキャンプ ★小学生78人参加 子どもキャンプで、活動班、就寝班のリーダーとして活躍しました。	事業の継続	青少年課	△
3-3-12	若者たちが育ち合う場の創設（重複掲載4-3-4）	若者たちが気軽に相談でき、育ち合い、自主運営を目指す場づくりを進めます。 ★子ども・若者育成プラン推進・策定部会ワーキングにおいて（8月24日）、県から居場所づくり、支援体制の推進について検討を進めてほしいとのことから、地域の資源をつなぐネットワークの構築や支援の担い手の育成について協議をしました。また、次期プランの策定にあたって、「居場所づくり」、「困難に直面している青少年への支援」、「社会参画」について「成人のつどい」で聞き取り調査をした。	検討	青少年課	△
3-3-13	学習情報の収集と提供（重複掲載3-1-1）	子どもや保護者等の多様な学習ニーズに対応するため、幅広い学習情報の収集と提供を行います。 ★3-1-1参照	事業の継続	教育総務課	△
3-3-14	各種育成事業	子どもたちの心豊かな育成に向けて、地域社会全体が協働して取り組む活動を支えます。 ■子ども会への支援 ★運営費補助71団体 ■青少年会館事業 ★延べ652回 9,129人 (鎌倉343回 4,669人 玉縄309回 4,460人) ■おはなし会 ★64回 554人 ■おひぎにだっこのおはなしかい ★71回 831人 ■あかちゃんと楽しむおはなしかい ★91回1,637人 ■一日図書館員 ★17回 136人 ■地域の高齢者と協働で 材木座海岸「砂浜でかけっ子」 ★4回 61人 (1-4-6、3-1-1と重複) ■子ども写生大会 ★1回 187人 ■演奏会 【H21】 ■子ども会への支援 ★運営費補助 69団体 ■子ども写生大会 ★1回 201人 ■演奏会 ★2回 12月 267人参加、3月 404人参加 ■青少年会館事業 ★延599回 8,983人 ■おはなし会 ★58回 512人 ■おひぎにだっこのおはなしかい ★72回 1,066人 ■一日図書館員 ★10回 61人 ■材木座海岸子ども教室“砂浜でかけっ子” ★8回 117人	子ども会・育成団体への支援、おはなし会、おひぎにだっこのおはなしかい、一日図書館員、学童保育・子育てサークルへの訪問サービス、基礎体力づくり教室の継続	青少年課 教育総務課 中央図書館 スポーツ課	△
3-3-15	総合型地域スポーツクラブの育成	地域で多種目、多世代、多様な技能レベルに応じたスポーツを楽しむことのできるクラブの支援を図ります。 ★創設希望団体へのヒアリング	設立済み団体と、創設希望団体に相談等の支援を行う	スポーツ課	○

事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-3-16	保育所の地域子育て支援	全公立保育所にて園庭開放、行事参加や子育て相談など地域の子育てを支援する活動を進めます。 ■「広場にて」にて園庭遊び、人形劇、親子体育遊び(スポーツ課事業)等を実施 園庭解放 ★公立 6園(全園) 月2～3回 ★子ども会館 年4回 (H22年2回 H23年4回 H24年4回 H25年4回) 【H21】 ★公立保育園全園で月1～2回実施しました。保育園が、地域において子育て中の親子の交流の場となるよう、園児や保育士と人形劇や親子あそび等を楽しむ「広場」を開催しました。	支援内容の充実	保育課	○
3-3-17	放課後子ども教室 (重複掲載4-3-5)	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を利用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともにスポーツ活動・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施します。 ■稲村ヶ崎小学校で実施 ★平日26日 土曜日18日 夏休み7日 登録者数 96人 ■今泉小学校で試行 ★平日9日 夏休み1日 登録者数 95人	事業の継続	教育総務課	△
3-3-18	放課後子どもプラン (重複掲載4-3-6)	「放課後児童健全育成事業」と「放課後子ども教室推進事業」を連携して行うもので、すべての子どもを対象として、放課後の安全で健やかな居場所づくりをめざします。 ■稲村ヶ崎小学校で実施 ★平日26日 土曜日18日 夏休み7日 登録者数 96人 ■今泉小学校で試行 ★平日9日 夏休み1日 登録者数 95人(教育総務課) ■平成26年度は連携なし。 ※放子教は、教育委員会にて実施(青少年課)	事業の継続	教育総務課 青少年課	△
3-3-19	スポーツ活動の促進	スポーツ活動を通して体力向上に役立て健やかに成長することを目的に、地域や学校でのふれあい活動に体力測定用具やニュー・スポーツの用具を貸出しします。 また、学校のふれあい体験活動の事業に指導者が出向いてニュー・スポーツを紹介しします。 子どもたちが様々なスポーツを体験することで、自分にあった運動を見つけられるよう生涯スポーツの推進を図ります。 ■体力測定用具やニュー・スポーツ用具の貸出 ★18件 ■手広中学校ふれあい体験活動「ユニカール・キンボール」 ★2回 39人 1-4-8と重複 ■スポーツ・レクリエーションフェア ★1回 321人(大人含む) ■巡回教室 楽しくスイミング ★6回 132人 ■チャレンジスポーツ ★7回 221人 (鎌倉k kスポーツユナイテッド主催) ■卓球教室 ★1回 12人 (鎌倉k kスポーツユナイテッド主催)	体力テストや体験教室の継続	スポーツ課	△
3-3-20	多世代交流地域共同拠点の創設 (重複掲載4-3-7)	地域資源の活用等により一般家庭の開放も含め、多世代が交流しあえる地域の拠点づくりを支援します。 ★地域の拠点づくりについて、地域福祉支援室(市と鎌倉市社会福祉協議会との協働事業)が、地域住民が主体となったサロン活動の情報収集を行うなど、調査研究を進めました。また、身近で交流できる「つどいの場」づくりを推進するため、「空き家、空き店舗等情報登録制度」を設けています。	事業の検討	福祉総務課 こどもみらい課	△

事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-3-21	「市長への手紙(子ども版)」(「わたしの提案(子ども版)」に名称変更)の設置	子どもの夢や希望を市政に生かすことを目的に、「市長への手紙(子ども版)」(平成24年2月から「わたしの提案(子ども版)」に名称変更)を全市立小中学校、全子ども会館・子どもの家及び青少年会館に設置します。 ★投書件数 6件 【H21】22件	事業の継続	市民相談課 こどもみらい課 教育指導課 青少年課	△
3-3-22	青少年健全育成活動	青少年の健全育成のため、各地域で青少年団体への活動支援や文化・レクリエーション活動を実施します。 地域活動の推進。 ■子どもたこあげ大会(材木座海岸) ★166人 青少年指導員40人 ジュニアリーダー2人 ■救命・救急 ★19人 ■ホテル(広町)鑑賞会 ★78人 ■鎌倉青少年会館フェスティバル 西鎌倉まつり ロジューマン祭り ■デイキャンプ(千秀センター) ★55人(18名青少年指導員) ■子ども科学実験「レモンでスタンプ作り・スーパーボールを作ろう」 ★40人 ■上町屋天満宮 大道芸 ■上郷ふれあいの森にて 野外調理・工作 研修 ★37人 ■各地区市民運動会 バトロール・手伝 ■愛川ふれあいの村 子どもキャンプ ★129人(子ども78人) ■青少年健全育成街頭キャンペーン ■西鎌倉小学校にて「昔あそび場」(おり紙・竹トンボ) ■玉縄まつり(バルーンアート) ■子どもフェスティバル(大船) ■成人のつどい 手伝 ■子どもそばうち教室 ★30人 ■深沢冬まつり(ヨーヨー・スーパーボール) ■中学生作文コンクール表彰式・発表 ■子どもキャンプ参加者のつどい ★50人 ■ミステリーツアー 建長汁と玄米おむすび ★子ども21名 青少年指導員10人 ■「ギャラリー50」展示パネル ■ジュニア育成(委託) ■体育館で遊ぼう ■「子ども達を取り巻く環境」講演会 ■青年指導員広報紙 年2回 ■おもちゃ箱 年2回	事業の継続	鎌倉市青少年指導員連絡協議会	△
3-3-23	家庭と地域の教育力活性化セミナー	家庭と地域の教育力をより高めるために、様々なテーマ(青少年の心理、生命の大切さ、食育、安全・安心等)で講演会や講習会を開催します。 ★1回開催	事業の継続 地域との連携を推進	教育総務課	△



事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-3-24	鎌倉てらこや事業	<p>地域子どもたちが主体的に生き、活動できる拠点をづくり、成熟した地域社会を創造します。 子どもたちの魂を輝かせるために、自然、歴史、伝統、文化、宗教的な環境の下で、遊び、学び合い、感動体験を培います。 親たちは、子どもとともに学び、自らを育み、自立したよき大人に生まれ変わることを目指します。</p> <p>★目指せ里ヤママスター☆事業（稲作事業）年6回 195人 ★鎌倉めぐり事業（郷土探険）年4回 86人 ★土と遊ぼう（陶芸事業）年9回 164人 ★みんなで朗読（朗読事業）年9回 263人 ★宿泊体験合宿（合宿事業）年2回 276人 ★遊ビバ！（オリエンテーション事業）年13回 166人 ★出向事業（大学生子ども会館派遣事業）毎週月曜日：富士塚子ども会館（20人）毎週水曜日：大船子ども会館（100人）岩瀬子ども会館（30人）毎週木曜日：山崎子ども会館（80人）関谷子ども会館（20人）隔週土曜日：梶原遊び基地（10人）年200回実施</p> <p>【H21】 ①土と遊ぼう（陶芸事業）年11回 233人 ②田んぼ（稲作事業）年7回 223人 ③宿泊体験合宿（合宿事業）年2回 149人 ④朗読事業 年9回 252人 ⑤てらネット合宿（建長寺）親子45人 学生ボランティア25人 ⑥博報「世界子ども日本語ネットワーク推進」助成事業 年1回⑦小学校の総合学習への参画 年1回 ⑧タックルベリー協賛「てらこや釣り道楽」年1回 35人</p>	事業内容の拡充	NPO法人鎌倉てらこや	△
3-3-28	てらハウス事業	<p>商業ビルの空き店舗に、子ども・保護者・学生ボランティア・地域ボランティアが集い、“本気”で学び、遊び、語り合う居場所をつくります。そのようにして過ごす時間から子ども自身が「やりたい」と思うことを発見し、スタッフの力添えを得ながら自らの力で実現することを目指します。</p> <p>■休日てらハウス： 原則毎週土曜日 10：00～16：00 ★50回実施 397人参加 ■平日てらハウス： 原則月～金曜日 13：00～17：00 ★230回実施 613人参加</p> <p>【H21】 ★32回実施 457人参加</p>	事業内容の拡充	NPO法人鎌倉てらこや	○
3-3-29	子どもお泊り里山体験	<p>昔ながらの農作業、自炊など里山体験をします。谷戸の収穫物を味わい、山崎地区の昔の暮らしの話を聞きながら里山の暮らしを体験します。</p> <p>★1回（1泊2日） □</p>	事業の継続	公益財団法人鎌倉市公園協会とNPO法人山崎・谷戸の会の共催	△



事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込) 額	評価
3-3-30	競技スポーツ活性化のための啓発 (H23新規)	<p>オリンピックや世界大会で活躍しているトップアスリートの演技を観戦したり、指導を受けることで、何事にも目標を持ってチャレンジしていく気持ちを育みます。</p> <p>また、ジュニア期から競技スポーツの向上を図り鎌倉から未来のオリンピック選手を目指します。</p> <p>■かながわアスリートネットワーク協働事業 「佐藤正喜先生に卓球の基本技術を学ぶ」 ★1教室 53人</p> <p>■鎌倉ゆかりのトップアスリートとの交流会 「徳洲会体操クラブの選手による公開練習と交流会」 ★1回 83人</p>	事業の継続	スポーツ課	△



一日冒険遊び場



主要施策3-4 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

事業名		事業内容	方向性	実施主体・関係課	評価
3-4-1	青少年健全育成に関する啓発	青少年健全育成に向け、各団体・生徒などによる街頭キャンペーンを年2回実施します。 ★2回実施 79団体440人参加	事業の継続	青少年課	△
3-4-2	街頭指導活動の推進	街頭指導活動等による青少年の問題行動の早期発見と未然防止に努めます。 ★13回 81人	事業の継続	青少年課	△
3-4-3	社会環境実態調査	カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶・書店の社会環境実態調査を行います。結果を神奈川県で集約し、関係業界団体に改善を要請します。また、店舗等への指導を検討します。 ★社会環境実態調査 1回 有害図書類区分陳列等調査 1回(有害図書類区分陳列等調査は26年度は県の指定により「書店」に対して実施。)	事業の継続	青少年課	△
3-4-4	学校と警察の連携の強化 (重複掲載4-2-4)	各学校と警察の連携により、学校・警察連絡協議会を設置し、不審者・変質者等の情報の連絡体制を整え、児童・生徒・学生の健全育成に努め、子どもを犯罪等の被害から守ります。 ★不審者情報提供件数 46件 ■鎌倉署管内学警連 役員会 ★1回 協議会 ★2回 ■大船署管内学警連 役員会 ★2回 協議会 ★2回 ■鎌倉市学警連全体協議会 ★1回 ■学校警察連携制度締結済	事業の継続	教育指導課	△

